

福井ふるさと学びの森 奥越エリア 第1回体験イベントを開催しました。

## 春の花に集まるちいさな生きものと出合いましょう!!

- 1 日時：平成28年5月5日（木・こどもの日）  
午前の部 11:00~12:00  
午後の部 13:15~14:15
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：43人（大人25、子ども18）
- 4 講師：大石橋 節子さん（自然観察指導員の会）

### 5 イベントのようす：



バグバグウォッチャーで虫を見てみよう

午前中は寒かったのですが、ゴールデンウィークとあって、生き物が大好きな子どもたちが集まりました。中には大石橋節子さんの観察会に毎回参加している方もいらっしゃいます。

子どもは秘密兵器(バグバグウォッチャーという名前の虫眼鏡つき虫かご)を手に、馬取池まで歩きました。途中でクマザサの若い葉で笛笛を作りました。クマザサの葉はやわらかく香もよいのです。



大石橋さんのお話のようす

馬取池近くのあずまやで大石橋さんがある話を聞かせてくれました。春の森ではモリアオガエルが池や水たまりの上にある木の枝先に白い泡の卵塊を生みます。そこから孵化したオタマジャクシはポトリポトリと池におち、水の中で成長するのですが、水の中ではアカハライモリが口を開けて待ち構えています。オタマジャクシはイモリの口の中にポトリポトリと落ち、イモリはお腹を満たします。ところがイモリはフクロウなどもっと大きなのえさになります。そんなふうに森の生き物たちはみんな関係を持っている、そんなお話でした。



アオダイショウの皮膚はなめらかでした

午後の部は自然保護センター前～せせらぎの小道～妻平湿原を折り返してたっぷり歩きました。観察した生き物は、スズメバチ、キシタドシリアゲ、ブライアシリアゲ、カマキリの卵、アカハネムシ、アズマヒキガエル、センチコガネ、ヨツボシトンボ、エゾイトトンボ、シオヤトンボ、アブラハヤの幼魚、ニワハンミョウ、アオダイショウなど。生き物大好きな子どもたちの成果で多くの種を観察できました。妻平湿原ではミツガシワの群落が見事な花を咲かせていましたし、森の中でも小さな春の草花が可憐な花をあちこちで咲かせていました。